

(決議)資料 2①

第 17 回殿堂掲額者 プロフィール

木村 和司（きむら かずし）氏

1958 年 7 月 19 日、広島県生まれ

広島工業高校時代から技巧派の右ウイングとして知られた。明治大学時代の 1977 年には U-19 日本代表としてアジアユース大会に出場。1981 年に日産自動車に入社し、同サッカー部に入部。当時日本サッカーリーグ (JSL) 2 部にいたチームを 1 部へ導いた。攻撃的 MF にコンバートされてゲームメーカーとしての才能が開花し、右足の正確かつ鋭いカーブをかけたキックでチャンスを演出、自らも得点を重ねた。

1986 年には、ブンデスリーガ（西ドイツ／当時）で活躍していた奥寺康彦の帰国と同時に、両氏共に初の国内プロ選手（当時は「スペシャルライセンスプレーヤー」として登録。JSL で 2 回、天皇杯では横浜マリノス時代を含め 6 回の優勝を誇る。サッカー担当記者が選ぶ年間最優秀選手賞に 3 度選ばれている。

日本代表には明治大学 2 年生時に初選出され、国際 A マッチ 54 試合出場 26 得点。FK からのシュートは特筆されるもので、日本代表チームの大きな武器となった。中でも 1986FIFA ワールドカップメキシコのアジア最終予選のホームゲームで韓国を相手に決めたゴールは、30 年を越えた今もなお語り継がれている。

現役引退後は 2001 年にフットサル日本代表監督、2010 年には横浜 F・マリノス監督に就任し、後進の指導にあたった。

フィリップ・トルシエ (Philippe Troussier) 氏

1955 年 3 月 21 日、フランス生まれ

1998 年に日本代表監督に就任し、2002FIFA ワールドカップ™でチームを初のベスト 16 に導いた。日本代表を率いた 4 年間で FIFA コンフェデレーションズカップ準優勝 (2001 年)、AFC アジアカップ優勝 (2000 年) を果たす。同時に U-23 日本代表、U-20 日本代表の監督を兼務し、1999 年には FIFA ワールドユース選手権 (現 FIFA U-20 ワールドカップ) で日本が FIFA 大会で初めて準優勝、2000 年のシドニーオリンピックではベスト 8 に進出した。

1983 年に監督キャリアをスタートさせた同氏はフランスやアフリカ各地、中国のクラブを指揮し、ナイジェリアや南アフリカ、カタールなどで代表監督を歴任。2020 年現在は、U-19 ベトナム代表監督を務めている。

2000 年に AFC 最優秀監督賞を受賞。